

平成二十八年年度入学試験問題

国語

試験日 平成二十八年二月四日(木曜日)

開始時刻 午後二時

終了時刻 午後二時

注意事項

- 一、この冊子は二十ページです。落丁、乱丁、印刷の不鮮明などがあつた場合には申し出て下さい。
- 二、解答はかならず解答用紙(マークシート)の指定されたところの番号をマークして下さい。
- 三、解答用紙の受験番号欄には、かならず受験番号(七ケタ)を記入し、その番号をマークして下さい。
- 四、解答用紙への記入は黒鉛筆を、解答を消す場合は、プラスチック消しゴムを使用して下さい。
- 五、解答用紙は試験が終了したら、かならず提出して下さい。
- 六、試験室内で配布された問題用紙は、持ち帰って結構です。

一 次の文章を読み、後の問いに答えなさい。

朗読「宮沢賢治が伝えること」に出かけた。宮沢作品を、総勢二十八名の役者さんたちが二人一組、日替わり交代で、朗読するという趣アである。

「A」「B」を掛け合ひで、あるいは「春と修羅」、「雨ニモマケズ」を単独で読む。声に出して読み上げられた宮沢賢治の言葉は、ひときわ澄みきつてゐる。

情イ豊かに、あるいは淡々と語られる宮沢賢治を聞いていて、私はふとそこにいつも同じ色彩が見えるような気がした。青である。宮沢賢治の青。

たとえば「春と修羅」の一節にはこうある。

まはゆい気圏の海のそこに  
 (かなしみは青々ふかへ)  
 ZYPRESSENしずかにゆすれ  
 鳥はまた青ぞらを截る

青は不思議な色である。空の青、海の青、青は自然の中のあらゆるところに見ることができる。そして大気にせよ、水にせよ、いずれももつとも生命に直結した重要な物質の色である。

(ウ) 青はそこから取り出してくることができない。水はすくえば透明だし、目の前の空気には色はない。でも見上げると、あるいは眺めると青はいつでもある。そのような遠い色として、青はある。青は色素ではなく、青い現象としてそこにある。

(エ) ときに自然の中に、青が凝結して存在すると私たちははつとすると、ヒマラヤの高原に咲く青いケンを一目見たい

◇M1 (320—1)

◇M1 (320—2)

— 1 —

と願った人がいる。福岡ハカセもまた、ルリボンカミキリという小さな甲虫の鮮やかな青に魅せられて、少年の頃、幾夏も野山をさまよった。

十七世紀、オランダの画家ヨハネス・フェルメールもまた青が人を捉えることに気づいていた。彼が青を描き出すために使ったのが、スマルトとラピスラズリだった。

スマルトもラピスラズリも鉱物である。つまり、青は白い布を染める色素としてではなく、青い(C)として、青い(D)として一瞬その場に立ち現れる。

宮沢賢治もまた、鉱物的な青をそのような自然の作用として見つめていたのだと思う。世界と「わたくし」を隔てると同様に、つなぐ界面としての青。宮沢賢治はそんな風に青をいつも見ていたのだと思う。

宮沢賢治は、「わたくし」という生命体にも空気や水に似た、青を見ていた。

「わたくし」という生物は、モノとして見ると、それは物質の集合体である。これは近代科学がずっと追究してきた生命観でもある。しかし、生命はモノでできているけれど、むしろその本質はモノそのものではなく、モノとモノとがどのように交信し、相互作用しているかという、その有機的な関係性にある。

つまり生命とは、淡く明滅を繰り返す、一回限りのかそけき(E)にすぎない。生物学者として私がようやくたどり着いたこの事実には、宮沢賢治はずっと最初から気づいていた。「春と修羅」は次のようにはじまる。

わたくし(という) E) は

仮定された有機交流電燈の  
 ひとつの青い照明です

(福岡伸一『やわらかな生命』 \*設問の関係上、本文を改めたところがある。)

\* ZYPRESSEN — ドイツ語。ZYPRESS (糸衫) の複数形  
 \* 福岡ハカセ — 筆者自身のこと

問一 空欄ア、イに当てはまる漢字を次の中から選び、それぞれの番号をマークしなさい。解答番号はアが 1、イが 2。

- |   |     |     |     |     |     |
|---|-----|-----|-----|-----|-----|
| ア | ① 意 | ② 旨 | ③ 致 | ④ 向 | ⑤ 味 |
| イ | ① 愛 | ② 感 | ③ 景 | ④ 操 | ⑤ 熱 |

問二 空欄(A)、(B)に入る作品名の組み合わせとして最適なものを一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は 3。

- |   |             |                           |
|---|-------------|---------------------------|
| ① | A 銀河鉄道の夜    | B こん狐 <small>こんぎゆ</small> |
| ② | A 泣いた赤鬼     | B 風の又三郎                   |
| ③ | A セロ弾きのゴーシュ | B 赤い蜘蛛と人魚                 |
| ④ | A 注文の多い料理店  | B よだかの星                   |
| ⑤ | A 蜘蛛の糸      | B なめとこ山の熊                 |

◇M1 (320—3)

◇M1 (320—4)

— 3 —

— 2 —



そうならば、人間社会はサル社会にそっくりなかたちに変わっていくでしょう。そしてその変化は、もうすでに始まっていると私は感じています。

サルの社会は、個体の欲求を優先します。個体にとつての利益とは、「なるべく栄養価の高いものを食べる」と「安全である」とです。

サルは群れの中で序列を作り、全員でルールに従うことで、個体の利益を最大化しています。自分より強いサルの前では決して食べ物に手を出さないのは、食べ物をめぐるトラブルを未然に防ぐためです。あらかじめ勝ち負けを決めておき、勝ったほうが食べ物を独占するのです。

④ それでは負けたほうはえらく不利益をコウムるのではないかと思えるでしょうが、そんなことはありません。サルの食べ物ほとんどが植物で、わりあい手に入りやすいものばかり。だからわざわざ争わないでも、どうにかなる。弱いものにしてみても、食べ物をめぐって無駄に争うよりは、遠慮したほうが結局は得だという知恵があるのです。

これは非常に経済的なシステムです。絶対的な序列の中にあるから、効率がいい。サルが群れているのは、集まっていたほうが得だからにすぎません。その証拠に、サルは群れから一度離れば、その集団に対する愛着を示すことは一切ありません。

⑤ サルとは違って、人間は自分の家族やコミュニティを愛し、縛られて生きていくものです。それが人間のひとつの根源的なアイデンティティだと私は考えています。しかし、家族が崩壊すれば、自分がどの家族の出身であるか、あるいは自分がどのコミュニティに所属するかということをも、もはや人はアイデンティティとして必要としないでしょう。

家族というものは確かに、個人にとって足かせとなる存在ではありません。ときには血のつながりが邪魔に思えることもあるでしょう。家族のしがらみが自分の行動を制限し、嫌な思いをすることもあつていいます。しかし家族という集団は、足かせと引き換えに、喜びや満足を与えるものでもあります。

(山極寿一「サル化する人間社会」\*設問の関係上、本文を改めたところがある。)

問一 この文章における第1段落と第2段落の役割の説明として、最適なものを一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は 10。

- ① 第1段落で結論を示し、第2段落でその理由を述べている。
- ② 第1段落で自分の問題意識を語り、第2段落でそれを補強している。
- ③ 第1段落で全体の概要を示し、第2段落で問題の背景を論じている。
- ④ 第1段落でトピックを示し、第2段落でそれを分析するポイントを述べている。
- ⑤ 第1段落で読者を驚かせた上で、第2段落で日常的な話題から説き起こしている。

問二 傍線部「現代の社会に合致しなくなつてきている」と筆者が考える理由として、最適なものを一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は 11。

- ① 家族関係というのは食を共にし、コミュニケーションをとりあつて形成されるものなのに、現代社会では個食化が進み、食卓を囲む必要性がなくなつてきているから
- ② どの家族の出身であるか、どのコミュニティに所属するかが以前のように重視されなくなつたために、現代社会では家族が足かせと考えられるようになったから
- ③ 現代社会は序列とルールに従つてさえいけば問題なく暮らせるようになったために、家族の支えを当てにしなくてもよくなつたから
- ④ 個人としての意思決定を最優先するようになった現代人は、家族に遠慮したり、縛られたりするような関係を嫌がるようになったから
- ⑤ みんなで限られた食べ物を分かち合う関係だった家族だが、今は飽食の時代を迎え、同じものを食べることにしがらみと受け止められるようになったから

◇M1 (320-9)

— 8 —

◇M1 (320-10)

— 9 —

問三 この文章はともに食べるものをどう選ぶか、その選び方で社会が作られていくからです。という文が抜けている。これを入れる場所として最適な箇所を一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は 12。

- ① ア
- ② イ
- ③ ウ
- ④ エ
- ⑤ オ

問四 サル社会が人間社会と異なる点として筆者が重視しているものは何か。最適なものを一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は 13。

- ① 絶対的な序列の中にあること
- ② 無駄な争いを避けること
- ③ 経済的に効率がよい生き方をすること
- ④ 勝者が食べ物独占すること
- ⑤ 所属する集団に愛着を持たないこと

問五 人間の社会がサル社会に似てきた、と筆者が述べる理由はどこにあると考えられるか。その説明として最適なものを一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は 14。

- ① 家族が単なる経済的な単位となり、効率ばかりが重視されるから
- ② 人間関係が希薄になり、序列によって秩序が維持されるようになったから
- ③ 個人の意思や欲求を家族やコミュニティよりも優先するようになったから
- ④ 食事ですら一人で食べるようになり、互いに協力もなくなつていから
- ⑤ 家族よりも会社や共同体の秩序やルールを大切にするようになったから

問六 家族の絆きずなに関して、筆者はどのようなことを考えているか。その説明として最適なものを一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は 15。

- ① そろつて食卓を囲み、食べ物を分かち合うことが家族の基盤となる。
- ② 安全で栄養価の高い食べ物を協力して確保することで連帯意識が深まる。
- ③ 複数の家族が協力し合い、コミュニティが活性化することが喜びや満足を生む。
- ④ サルのように個体の利益を最優先するのではなく、互いに譲り合ひて愛着が出へる。
- ⑤ 互いの個性や意思を尊重し、干渉を避けることで心理的な負担を減らすことができる。

◇M1 (320-11)

— 10 —

◇M1 (320-12)

— 11 —

問七 家族が崩壊すると、どのような問題が起きると筆者は考えているか。その説明として最適なものを一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は 16。

- ① アイデンティティが崩壊する
- ② コミュニティが解体する
- ③ 集団の秩序が乱れ、争いが起きる
- ④ 人間性が失われてしまう
- ⑤ 道徳心や倫理感が育たなくなる

問八 この文章を前半と後半に分けるとすると、どこで分ければよいか。最適な箇所を一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は 17。

- ① A
- ② B
- ③ C
- ④ D
- ⑤ E

問九 この文章の結びとして、空欄 F に入る最適なものを一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は 18。

- ① 家族が崩壊した状態の中で健全な人間性が育たなくなり、だれもがサルと同じような価値観で行動するようになったら、社会はどうなってしまうのでしょうか
- ② 家族を失った現代の人間は、個人として意思決定を自由にできるようになりますが、それは本当に幸せなのでしょうか
- ③ 喜びや満足を感じられなくなったときに、孤立した人間ははたしてどのような行動を取るようになるのでしょうか
- ④ しがらみや足かせから解放され、自由になったときに感じる喜びや満足との違いを人はどう感じるのでしょか
- ⑤ 家族のしがらみを逃れた人は、行動の自由を手に入れ、本当に嫌な思いをせずすむのでしょうか

問十 二重傍線部「コウム」と同じ漢字を含むものを一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は 19。

- ① コモン弁護士と相談する
- ② ジュナンの人生
- ③ キョウヨされた資金
- ④ ヒギシャが逮捕された
- ⑤ ジュシヨウシキの挨拶

**三**  
次の各問いに答えなさい。

問一 次の文は大竹文雄氏の著書『経済学のセンスを磨く』の一部である。A～Eの順番として最も適当なものを一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は 20。

「ある池に浮き草の塊があります。毎日、浮き草の面積が倍になっていきます。もし、48日で浮き草が池全体を覆ってしまったとすれば、池の半分を覆うのに何日かかったでしょうか？」  
等比数列にして数式を解かないとダメだとか、面積が半分なのだから半分の日数の24日だとか、いろいろ考えてしまっただ。逆に考えれば簡単で、毎日倍になるのだから、一日前は面積が半分だったと考えれば47日目か。こんな小学校レベルの問題であつても、私たちは間違えてしまうのだ。こうした引っかけタイプのクイズに引っかかってしまうのが人間だ。このタイプの問題にまったく引っかけからない人は、神様を信じない傾向があるという研究もあるくらいだ。

- A それを、学校教育で体感させていき、論理的思考力が実生活で役に立つことを納得させる。
- B 直感が正しいこともあるけれど、間違っていることも多い。
- C 実は、経済学のセンスを身につけるということも、同じ意味がある。
- D 私たちが誰でも持っている直感による判断は、正しい場合もあるけれど、現代社会における経済取引や経済的意思決定では望ましくない場合も多い。
- E 算数や数学の教育というのは、直感で判断しては間違ってしまうものを、論理的に考える癖をつけさせるという役割が大きい。

経済学を身につけると、直感的判断が正しいかどうかを自分でチェックできるようになるのだ。

- ① E ↓ B ↓ A ↓ C ↓ D
- ② E ↓ D ↓ A ↓ B ↓ C
- ③ D ↓ C ↓ B ↓ E ↓ A
- ④ D ↓ A ↓ C ↓ E ↓ B
- ⑤ D ↓ E ↓ C ↓ A ↓ B

問二 誤字を含む文を一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は 21。

- ① 消費税増税の問題点の一つに、所得が低い世帯ほど税負担が重くなる「逆進性」がある。
- ② 日銀総裁の発言を受けて、外国為替市場では一転してドル安円高が進行した。
- ③ 労働者派遣法改正案の審議が大詰めを迎え、与党は適明けにも採決に持ち込む予定だ。
- ④ 国連食糧農業機関によると、栄養不足の人口が過去二十五年で最も少なくなっているという。
- ⑤ 個人情報を大量に保有する企業や団体は、標的型サイバー攻撃を受ける恐れがある。

問三 誤った読み方のものを一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は 22。

- ① 推敲 (すいこう)
- ② 相殺 (そうざい)
- ③ 辛辣 (しんら)
- ④ 畏怖 (いふ)
- ⑤ 憔悴 (しょうすい)

問四 対義語の関係になっていないものを一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は 23。

- ① 虚偽 ↑ ↓ 真実
- ② 左遷 ↑ ↓ 栄転
- ③ 質素 ↑ ↓ 華美
- ④ 甚大 ↑ ↓ 極小
- ⑤ 節約 ↑ ↓ 浪費

問五 傍線部の言葉の使い方が適切でない文を一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は 24。

- ① 彼のよんどころない態度にはもううんざりだ。
- ② あの人の言っていることは、なんだかうんざりする。
- ③ 大雨になると、おびただしい量の水が下流に流れてくる。
- ④ 私などがおこがましいのですが、一言申し上げます。
- ⑤ 調査は進んだものの、めぼしい成果は得られなかった。

問六 傍線部の言葉の使い方が適切でない文を一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は 25。

- ① 当時の様子を最も端的に表しているのがこの写真である。
- ② 今期は円安の影響もあり、製造業はおしなべて高収益を上げている。
- ③ 打ち合わせの間、彼女はしきりに時間を気にしていた。
- ④ なまじ知識があるより、まったく知識がないほうが成功しやすい。
- ⑤ 広く人々に信じられているものには迷信のようなものがとめて多い。

問七 傍線部の言葉の使い方が適切でない文を一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は 26。

- ① ゲームに勝つには、正攻法ではなく、裏をかくことが必要だ。
- ② この作品が日の目を見たのは、氏の没後50年を経たからのことだ。
- ③ 彼は何でもできるから、この仕事を辞めても、つぶしがきくでしょう。
- ④ 神業のような技術を一つも見落とすまいと息をぬいて見つめていた。
- ⑤ この数年、大手上位三社が顧客の獲得にしのぎを削っている。

問八 言葉の説明が適切でないものを一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は 27。

- ① コンテンツ (内容、中身。「目次」という意味で使われることもある。)
- ② ポジティブ (積極的、攻撃的、意欲的なさま。「な動き」)
- ③ クライシス (危機、重大局面。特に、経済の危機や恐慌を表す。)
- ④ エモーショナル (感情的、情緒的なさま。「な言動」)
- ⑤ ポリシー (方針、原則。「たわり」という意味で使われることもある。)

問九 空欄 (A)、(B)に入る適切な組み合わせのものを一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は 28。

【地元の人に道を尋ねて】

「すみません。お尋ねします。八王子駅へ行きたいのですが、どう行けばいいか、(A)。(B)。(C)。(D)。(E)。(F)。(G)。(H)。(I)。(J)。(K)。(L)。(M)。(N)。(O)。(P)。(Q)。(R)。(S)。(T)。(U)。(V)。(W)。(X)。(Y)。(Z)。(AA)。(AB)。(AC)。(AD)。(AE)。(AF)。(AG)。(AH)。(AI)。(AJ)。(AK)。(AL)。(AM)。(AN)。(AO)。(AP)。(AQ)。(AR)。(AS)。(AT)。(AU)。(AV)。(AW)。(AX)。(AY)。(AZ)。(BA)。(BB)。(BC)。(BD)。(BE)。(BF)。(BG)。(BH)。(BI)。(BJ)。(BK)。(BL)。(BM)。(BN)。(BO)。(BP)。(BQ)。(BR)。(BS)。(BT)。(BU)。(BV)。(BW)。(BX)。(BY)。(BZ)。(CA)。(CB)。(CC)。(CD)。(CE)。(CF)。(CG)。(CH)。(CI)。(CJ)。(CK)。(CL)。(CM)。(CN)。(CO)。(CP)。(CQ)。(CR)。(CS)。(CT)。(CU)。(CV)。(CW)。(CX)。(CY)。(CZ)。(DA)。(DB)。(DC)。(DD)。(DE)。(DF)。(DG)。(DH)。(DI)。(DJ)。(DK)。(DL)。(DM)。(DN)。(DO)。(DP)。(DQ)。(DR)。(DS)。(DT)。(DU)。(DV)。(DW)。(DX)。(DY)。(DZ)。(EA)。(EB)。(EC)。(ED)。(EE)。(EF)。(EG)。(EH)。(EI)。(EJ)。(EK)。(EL)。(EM)。(EN)。(EO)。(EP)。(EQ)。(ER)。(ES)。(ET)。(EU)。(EV)。(EW)。(EX)。(EY)。(EZ)。(FA)。(FB)。(FC)。(FD)。(FE)。(FF)。(FG)。(FH)。(FI)。(FJ)。(FK)。(FL)。(FM)。(FN)。(FO)。(FP)。(FQ)。(FR)。(FS)。(FT)。(FU)。(FV)。(FW)。(FX)。(FY)。(FZ)。(GA)。(GB)。(GC)。(GD)。(GE)。(GF)。(GG)。(GH)。(GI)。(GJ)。(GK)。(GL)。(GM)。(GN)。(GO)。(GP)。(GQ)。(GR)。(GS)。(GT)。(GU)。(GV)。(GW)。(GX)。(GY)。(GZ)。(HA)。(HB)。(HC)。(HD)。(HE)。(HF)。(HG)。(HH)。(HI)。(HJ)。(HK)。(HL)。(HM)。(HN)。(HO)。(HP)。(HQ)。(HR)。(HS)。(HT)。(HU)。(HV)。(HW)。(HX)。(HY)。(HZ)。(IA)。(IB)。(IC)。(ID)。(IE)。(IF)。(IG)。(IH)。(IJ)。(IK)。(IL)。(IM)。(IN)。(IO)。(IP)。(IQ)。(IR)。(IS)。(IT)。(IU)。(IV)。(IW)。(IX)。(IY)。(IZ)。(JA)。(JB)。(JC)。(JD)。(JE)。(JF)。(JG)。(JH)。(JI)。(JJ)。(JK)。(JL)。(JM)。(JN)。(JO)。(JP)。(JQ)。(JR)。(JS)。(JT)。(JU)。(JV)。(JW)。(JX)。(JY)。(JZ)。(KA)。(KB)。(KC)。(KD)。(KE)。(KF)。(KG)。(KH)。(KI)。(KJ)。(KK)。(KL)。(KM)。(KN)。(KO)。(KP)。(KQ)。(KR)。(KS)。(KT)。(KU)。(KV)。(KW)。(KX)。(KY)。(KZ)。(LA)。(LB)。(LC)。(LD)。(LE)。(LF)。(LG)。(LH)。(LI)。(LJ)。(LK)。(LL)。(LM)。(LN)。(LO)。(LP)。(LQ)。(LR)。(LS)。(LT)。(LU)。(LV)。(LW)。(LX)。(LY)。(LZ)。(MA)。(MB)。(MC)。(MD)。(ME)。(MF)。(MG)。(MH)。(MI)。(MJ)。(MK)。(ML)。(MN)。(MO)。(MP)。(MQ)。(MR)。(MS)。(MT)。(MU)。(MV)。(MW)。(MX)。(MY)。(MZ)。(NA)。(NB)。(NC)。(ND)。(NE)。(NF)。(NG)。(NH)。(NI)。(NJ)。(NK)。(NL)。(NM)。(NO)。(NP)。(NQ)。(NR)。(NS)。(NT)。(NU)。(NV)。(NW)。(NX)。(NY)。(NZ)。(OA)。(OB)。(OC)。(OD)。(OE)。(OF)。(OG)。(OH)。(OI)。(OJ)。(OK)。(OL)。(OM)。(ON)。(OO)。(OP)。(OQ)。(OR)。(OS)。(OT)。(OU)。(OV)。(OW)。(OX)。(OY)。(OZ)。(PA)。(PB)。(PC)。(PD)。(PE)。(PF)。(PG)。(PH)。(PI)。(PJ)。(PK)。(PL)。(PM)。(PN)。(PO)。(PP)。(PQ)。(PR)。(PS)。(PT)。(PU)。(PV)。(PW)。(PX)。(PY)。(PZ)。(QA)。(QB)。(QC)。(QD)。(QE)。(QF)。(QG)。(QH)。(QI)。(QJ)。(QK)。(QL)。(QM)。(QN)。(QO)。(QP)。(QQ)。(QR)。(QS)。(QT)。(QU)。(QV)。(QW)。(QX)。(QY)。(QZ)。(RA)。(RB)。(RC)。(RD)。(RE)。(RF)。(RG)。(RH)。(RI)。(RJ)。(RK)。(RL)。(RM)。(RN)。(RO)。(RP)。(RQ)。(RR)。(RS)。(RT)。(RU)。(RV)。(RW)。(RX)。(RY)。(RZ)。(SA)。(SB)。(SC)。(SD)。(SE)。(SF)。(SG)。(SH)。(SI)。(SJ)。(SK)。(SL)。(SM)。(SN)。(SO)。(SP)。(SQ)。(SR)。(SS)。(ST)。(SU)。(SV)。(SW)。(SX)。(SY)。(SZ)。(TA)。(TB)。(TC)。(TD)。(TE)。(TF)。(TG)。(TH)。(TI)。(TJ)。(TK)。(TL)。(TM)。(TN)。(TO)。(TP)。(TQ)。(TR)。(TS)。(TT)。(TU)。(TV)。(TW)。(TX)。(TY)。(TZ)。(UA)。(UB)。(UC)。(UD)。(UE)。(UF)。(UG)。(UH)。(UI)。(UJ)。(UK)。(UL)。(UM)。(UN)。(UO)。(UP)。(UQ)。(UR)。(US)。(UT)。(UU)。(UV)。(UW)。(UX)。(UY)。(UZ)。(VA)。(VB)。(VC)。(VD)。(VE)。(VF)。(VG)。(VH)。(VI)。(VJ)。(VK)。(VL)。(VM)。(VN)。(VO)。(VP)。(VQ)。(VR)。(VS)。(VT)。(VU)。(VV)。(VW)。(VX)。(VY)。(VZ)。(WA)。(WB)。(WC)。(WD)。(WE)。(WF)。(WG)。(WH)。(WI)。(WJ)。(WK)。(WL)。(WM)。(WN)。(WO)。(WP)。(WQ)。(WR)。(WS)。(WT)。(WU)。(WV)。(WW)。(WX)。(WY)。(WZ)。(XA)。(XB)。(XC)。(XD)。(XE)。(XF)。(XG)。(XH)。(XI)。(XJ)。(XK)。(XL)。(XM)。(XN)。(XO)。(XP)。(XQ)。(XR)。(XS)。(XT)。(XU)。(XV)。(XW)。(XX)。(XY)。(XZ)。(YA)。(YB)。(YC)。(YD)。(YE)。(YF)。(YG)。(YH)。(YI)。(YJ)。(YK)。(YL)。(YM)。(YN)。(YO)。(YP)。(YQ)。(YR)。(YS)。(YT)。(YU)。(YV)。(YW)。(YX)。(YZ)。(ZA)。(ZB)。(ZC)。(ZD)。(ZE)。(ZF)。(ZG)。(ZH)。(ZI)。(ZJ)。(ZK)。(ZL)。(ZM)。(ZN)。(ZO)。(ZP)。(ZQ)。(ZR)。(ZS)。(ZT)。(ZU)。(ZV)。(ZW)。(ZX)。(ZY)。(ZZ)。(AA)。(AB)。(AC)。(AD)。(AE)。(AF)。(AG)。(AH)。(AI)。(AJ)。(AK)。(AL)。(AM)。(AN)。(AO)。(AP)。(AQ)。(AR)。(AS)。(AT)。(AU)。(AV)。(AW)。(AX)。(AY)。(AZ)。(BA)。(BB)。(BC)。(BD)。(BE)。(BF)。(BG)。(BH)。(BI)。(BJ)。(BK)。(BL)。(BM)。(BN)。(BO)。(BP)。(BQ)。(BR)。(BS)。(BT)。(BU)。(BV)。(BW)。(BX)。(BY)。(BZ)。(CA)。(CB)。(CC)。(CD)。(CE)。(CF)。(CG)。(CH)。(CI)。(CJ)。(CK)。(CL)。(CM)。(CN)。(CO)。(CP)。(CQ)。(CR)。(CS)。(CT)。(CU)。(CV)。(CW)。(CX)。(CY)。(CZ)。(DA)。(DB)。(DC)。(DD)。(DE)。(DF)。(DG)。(DH)。(DI)。(DJ)。(DK)。(DL)。(DM)。(DN)。(DO)。(DP)。(DQ)。(DR)。(DS)。(DT)。(DU)。(DV)。(DW)。(DX)。(DY)。(DZ)。(EA)。(EB)。(EC)。(ED)。(EE)。(EF)。(EG)。(EH)。(EI)。(EJ)。(EK)。(EL)。(EM)。(EN)。(EO)。(EP)。(EQ)。(ER)。(ES)。(ET)。(EU)。(EV)。(EW)。(EX)。(EY)。(EZ)。(FA)。(FB)。(FC)。(FD)。(FE)。(FF)。(FG)。(FH)。(FI)。(FJ)。(FK)。(FL)。(FM)。(FN)。(FO)。(FP)。(FQ)。(FR)。(FS)。(FT)。(FU)。(FV)。(FW)。(FX)。(FY)。(FZ)。(GA)。(GB)。(GC)。(GD)。(GE)。(GF)。(GG)。(GH)。(GI)。(GJ)。(GK)。(GL)。(GM)。(GN)。(GO)。(GP)。(GQ)。(GR)。(GS)。(GT)。(GU)。(GV)。(GW)。(GX)。(GY)。(GZ)。(HA)。(HB)。(HC)。(HD)。(HE)。(HF)。(HG)。(HH)。(HI)。(HJ)。(HK)。(HL)。(HM)。(HN)。(HO)。(HP)。(HQ)。(HR)。(HS)。(HT)。(HU)。(HV)。(HW)。(HX)。(HY)。(HZ)。(IA)。(IB)。(IC)。(ID)。(IE)。(IF)。(IG)。(IH)。(IJ)。(IK)。(IL)。(IM)。(IN)。(IO)。(IP)。(IQ)。(IR)。(IS)。(IT)。(IU)。(IV)。(IW)。(IX)。(IY)。(IZ)。(JA)。(JB)。(JC)。(JD)。(JE)。(JF)。(JG)。(JH)。(JI)。(JJ)。(JK)。(JL)。(JM)。(JN)。(JO)。(JP)。(JQ)。(JR)。(JS)。(JT)。(JU)。(JV)。(JW)。(JX)。(JY)。(JZ)。(KA)。(KB)。(KC)。(KD)。(KE)。(KF)。(KG)。(KH)。(KI)。(KJ)。(KL)。(KM)。(KN)。(KO)。(KP)。(KQ)。(KR)。(KS)。(KT)。(KU)。(KV)。(KW)。(KX)。(KY)。(KZ)。(LA)。(LB)。(LC)。(LD)。(LE)。(LF)。(LG)。(LH)。(LI)。(LJ)。(LK)。(LM)。(LN)。(LO)。(LP)。(LQ)。(LR)。(LS)。(LT)。(LU)。(LV)。(LW)。(LX)。(LY)。(LZ)。(MA)。(MB)。(MC)。(MD)。(ME)。(MF)。(MG)。(MH)。(MI)。(MJ)。(MK)。(ML)。(MN)。(MO)。(MP)。(MQ)。(MR)。(MS)。(MT)。(MU)。(MV)。(MW)。(MX)。(MY)。(MZ)。(NA)。(NB)。(NC)。(ND)。(NE)。(NF)。(NG)。(NH)。(NI)。(NJ)。(NK)。(NL)。(NM)。(NO)。(NP)。(NQ)。(NR)。(NS)。(NT)。(NU)。(NV)。(NW)。(NX)。(NY)。(NZ)。(OA)。(OB)。(OC)。(OD)。(OE)。(OF)。(OG)。(OH)。(OI)。(OJ)。(OK)。(OL)。(OM)。(ON)。(OO)。(OP)。(OQ)。(OR)。(OS)。(OT)。(OU)。(OV)。(OW)。(OX)。(OY)。(OZ)。(PA)。(PB)。(PC)。(PD)。(PE)。(PF)。(PG)。(PH)。(PI)。(PJ)。(PK)。(PL)。(PM)。(PN)。(PO)。(PP)。(PQ)。(PR)。(PS)。(PT)。(PU)。(PV)。(PW)。(PX)。(PY)。(PZ)。(QA)。(QB)。(QC)。(QD)。(QE)。(QF)。(QG)。(QH)。(QI)。(QJ)。(QK)。(QL)。(QM)。(QN)。(QO)。(QP)。(QQ)。(QR)。(QS)。(QT)。(QU)。(QV)。(QW)。(QX)。(QY)。(QZ)。(RA)。(RB)。(RC)。(RD)。(RE)。(RF)。(RG)。(RH)。(RI)。(RJ)。(RK)。(RL)。(RM)。(RN)。(RO)。(RP)。(RQ)。(RR)。(RS)。(RT)。(RU)。(RV)。(RW)。(RX)。(RY)。(RZ)。(SA)。(SB)。(SC)。(SD)。(SE)。(SF)。(SG)。(SH)。(SI)。(SJ)。(SK)。(SL)。(SM)。(SN)。(SO)。(SP)。(SQ)。(SR)。(SS)。(ST)。(SU)。(SV)。(SW)。(SX)。(SY)。(SZ)。(TA)。(TB)。(TC)。(TD)。(TE)。(TF)。(TG)。(TH)。(TI)。(TJ)。(TK)。(TL)。(TM)。(TN)。(TO)。(TP)。(TQ)。(TR)。(TS)。(TT)。(TU)。(TV)。(TW)。(TX)。(TY)。(TZ)。(UA)。(UB)。(UC)。(UD)。(UE)。(UF)。(UG)。(UH)。(UI)。(UJ)。(UK)。(UL)。(UM)。(UN)。(UO)。(UP)。(UQ)。(UR)。(US)。(UT)。(UU)。(UV)。(UW)。(UX)。(UY)。(UZ)。(VA)。(VB)。(VC)。(VD)。(VE)。(VF)。(VG)。(VH)。(VI)。(VJ)。(VK)。(VL)。(VM)。(VN)。(VO)。(VP)。(VQ)。(VR)。(VS)。(VT)。(VU)。(VV)。(VW)。(VX)。(VY)。(VZ)。(WA)。(WB)。(WC)。(WD)。(WE)。(WF)。(WG)。(WH)。(WI)。(WJ)。(WK)。(WL)。(WM)。(WN)。(WO)。(WP)。(WQ)。(WR)。(WS)。(WT)。(WU)。(WV)。(WW)。(WX)。(WY)。(WZ)。(XA)。(XB)。(XC)。(XD)。(XE)。(XF)。(XG)。(XH)。(XI)。(XJ)。(XK)。(XL)。(XM)。(XN)。(XO)。(XP)。(XQ)。(XR)。(XS)。(XT)。(XU)。(XV)。(XW)。(XX)。(XY)。(XZ)。(YA)。(YB)。(YC)。(YD)。(YE)。(YF)。(YG)。(YH)。(YI)。(YJ)。(YK)。(YL)。(YM)。(YN)。(YO)。(YP)。(YQ)。(YR)。(YS)。(YT)。(YU)。(YV)。(YW)。(YX)。(YZ)。(ZA)。(ZB)。(ZC)。(ZD)。(ZE)。(ZF)。(ZG)。(ZH)。(ZI)。(ZJ)。(ZK)。(ZL)。(ZM)。(ZN)。(ZO)。(ZP)。(ZQ)。(ZR)。(ZS)。(ZT)。(ZU)。(ZV)。(ZW)。(ZX)。(ZY)。(ZZ)。

問十 敬語の使い方が適切でないものを一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は 29。

① 【ホテルで】

宿泊客 「一泊で予約した上野ですが。」

フロント係 「いらっしゃいます。お待ちしております。」

② 【店のレジで】

客 「では、これをお願いします。」

店員 「申し訳ございません。あいにく当店ではこちらのカードはご利用できません。」

③ 【会社で】

来客 「それでは、吉田課長はいらっしゃらないんですね。」

従業員 「申し訳ありません。ご用件につきましては、代わりに承るよう言付かっておりますので。」

④ 【会社で】

社員 「先ほど、伊藤様から十五分ほど遅れていらっしゃるとの連絡がございました。」

部長 「十五分ですね。わかりました。」

⑤ 【学校で】

生徒 「先生、この本は私がお持ちします。」

教師 「それは助かる。ありがとうございます。」